

# フォークダンス

## 具体的な指導内容



### フォークダンスでは

伝承されてきた日本の地域の踊りや外国の踊りを取り上げ、みんなで一緒に踊るのが楽しい運動です。その際、基本的なステップや動きを身に付け、音楽に合わせて感じを込めて踊ることが大切です。また、踊りを通して日本や世界の文化に触れることで、伝統的な文化を尊重する態度も育てます。そのため、踊りに必要な簡単な小道具や衣装を付けたり、踊りに伴う掛け声などを付けたりして踊りの雰囲気高め、リズムに乗って踊る楽しさを味わえる場を工夫することもできます。

→ 解説P.76・77

### 解説に例示として示されている踊りと動き(抜粋) → 解説P.76・77

#### ○日本の民踊

民踊は、それぞれの地域で親しまれている踊りで、地域性や気候風土などその地方の人々の生活から生まれた踊りです。そのため、軽快なリズムの踊りや力強い踊りなど、それぞれの踊り方に特徴があります。

※各地域の民踊の由来や郷土の歴史とともに、踊る楽しさを味わいます。

#### 力強い踊り～ソーラン節～



力強い踊りでは、低く踏みしめるような足取りや腰の動きが特徴です。

#### 軽快なリズムの踊り～阿波踊り～



軽快なリズムの踊りでは、軽快な足さばきや手ぶりが特徴です。

#### ○外国のフォークダンス

外国のフォークダンスは、その国の民族性や気候風土などによって、特徴が異なります。文化や生活の違う人々から生まれた様々なものがあり、一つ一つの動作に意味が込められています。

#### マイム・マイム(イスラエル)



集団で円になって踊ります。みんなで手をつなぎ、力強くステップを踏みながら移動する動きが特徴です。

#### コロブチカ(ロシア)



二重円になり、パートナーチェンジをしながら踊ります。パートナーと手をつなぎ、軽快なステップでの踊りが特徴です。

※各国の踊りの背景や特徴を知り、その国の理解も深めましょう。また、フォークダンスは、互いに手をつないで踊るものが多いです。協調性を大切にして、ペアで踊る楽しさを味わいます。

# 授業づくりの留意点

指導の充実のために → 解説 P.76・77・表現 V

## いきいきと踊るために実態に合った題材(曲)を選ぶ

### 日本の民踊

- 各地域で親しまれている踊り
- 日本の代表的な民踊

### 外国のフォークダンス

- 世界の異なった国や地域の様々な踊り
- 外国の代表的なフォークダンス

児童にとって身近な民踊や、聞いたことがある題材  
踊りに込められたその土地の人々の思いや願いが分かり、それぞれの文化のよさを感じることができる題材  
踊り方の特徴が異なる題材(軽快なステップの動き、力強い動き、隊形や組み方など)

## イメージをふくらませ、動きを引き出すために言葉がけを工夫する

初めてフォークダンスを経験する場面では…



○踊りの意味(場面の様子や人々の思い)を伝える。  
「マイム・マイム」はイスラエルの踊りです。「マイム」は水の意味で、水の少ない砂漠で農民が水を見つけた喜びを歌い踊ったものです。

○踊り方は、言葉のリズムで指導する。  
「前・横・後・ピョン…」 「前・前・前…」  
「前・トン・前・トン…」 「へい」

○少しずつ分けて指導する。  
まずは始めの8呼間をします。繰り返しますね。  
次の8呼間です。繰り返します。始めからしてみます。

動きに自信がない子どもには…



○褒め言葉のシャワーを!!  
「ステップが滑らかになってきたよ。その調子!!」  
「表情がいいね。動きがいきいきしてるよ。」  
「水を見つけた喜びが伝わってくるようだよ。」

### 踊る喜びを高めるために



○友達とのかかわり方を方向づける。  
「ちゃんと相手を見て、手をたたきましょう。優しくね。」  
「相手と優しく手をつなぎましょう。そうそう、上手だよ。」  
「クラスみんなの動きがそろっていきいきたよ。」

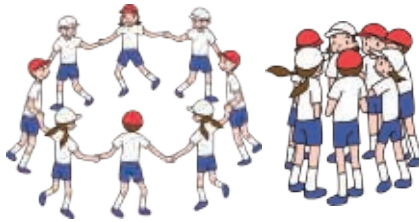
## 表現しやすいように準備運動で心と体を十分にほぐす

### レッツ!ダンス!



既習のリズムダンスや流行りのダンスなどを取り入れて心も体もほぐします。また、教師や児童が見つけた動きを真似し合います。

### 円形コミュニケーション



#### 全員やグループで手をつないで円をつくる。

- 回る(歩く、スキップ、ギャロップ、小走り)
- 大波小波
- 立つ一座る
- くぐる
- 集まる一離れる

### 小道具や衣装を使って



日本の民踊では、小道具を持ち、衣装を着て踊ることが多い。授業でも道具や衣装を用意すると雰囲気が高まります。  
※うちわ、はっぴ、たいこ等

## 児童のこんな姿を目指します

難しい動きやステップを覚えて、掛け声をかけながらリズムに乗って踊ることができました。



みんなと心をつなげて踊ると、体全体がたくさん動いて心地よかったです。次もみんなで踊りたいです。



言葉でリズムをとりながら練習しました。友達のよい動きを見つけて、まねしました。



小学校体育(運動領域)  
まるわかりハンドブック  
高学年  
(第5学年及び第6学年)



<作成協力者>(五十音順)

大阪府高槻市立津之江小学校	教 頭	石橋竜弥
立命館大学スポーツ健康科学部	教 授	大友 智
北海道教育庁学校教育健康・体育課	指導主事	行徳義朗
宮城県仙台市立大野田小学校	主幹教諭	菅澤和瓜
広島県教育委員会西部教育事務所	指導主事	清田美紀
日本体育大学大学院	教 授・研究科長	高橋健夫
東京都品川区立小中一貫校伊藤学園	主幹教諭	谷口恒宏
群馬県伊勢崎市立宮郷第二小学校	教 諭	中嶋伸夫
香川大学教育学部附属高松小学校	教 諭	長町裕子
埼玉県教育庁県立学校部保健体育課	主任指導主事	中西健二
山梨県教育庁スポーツ健康課	副主幹・指導主事	樋川君子
神奈川県横浜市立間門小学校	主幹教諭	益子照正
東京学芸大学芸術・スポーツ科学系	教 授	松田恵示
長崎県教育庁体育保健課	指導主事	宮田幸治
高知県教育委員会スポーツ健康教育課	チーフ	山本儀浩
<文部科学省科学省担当官>		
文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課教科調査官		白旗和也
文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課教科調査官		佐藤 豊

※職名は平成23年3月現在